



1年学年だより

発行日:令和7年12月 25 日(木)

発行者:横浜市立南高等学校附属中学校

学校長:二上 直子 NO. 8



活動中の中学 1 年生

演劇ワークショップを通して



MINAMI

校長代理 中澤 務

附属中 1 年生 演劇ワークショップ

11 月から 12 月にかけて、附属中 1 年生が 3 回にわたり演劇の活動に取り組みました。動物や食べ物を身体で表現することから始まり、前の人がとった動きに合わせてジェスチャーを続けていくなど、様々な活動を重ね、最終的にはグループでミニ演劇を作りあげました。

今回、授業を担当して下さった講師、アーティストの大道朋奈さん、アシスタントの伊藤恭平さん、オカダエミさん、そして今回のプログラムをコーディネートして下さった ST スポット横浜の田中真実さんにお話を伺い、附属中学生の様子や演劇について語っていただきました。

演劇の仕事に取り組む

中: まず、皆さんが「演劇の仕事」を始めたきっかけを教えてください。

大: もともととは小劇場で俳優をしていました。でも、競争や人間関係の難しさもあり、どう演劇を続けていこうか悩んでいたんです。そんなとき、ある市民劇に参加し、出演者同士が考えを出し合いながら作品をつくる“集団創作”という手法に出会いました。とても風通しがよく、「こういうかたちの演劇なら続けていきたい」と感じました。演劇を通して社会に関わっているんだと実感をもてる、そんなファシリテーターの仕事に繋がっています。

オ: 私は大学生の時、ワークショップのファシリテーター養成講座に参加したのが出発点です。「バイトをしたい」と先生に相談したら、ファシリテーター養成講座を勧めてもらえて、今があります。演劇をやって社会に貢献、人のためになっている実感があるのがワークショップの魅力です。正解のないことに自分たちで答えを作り出す、その時間が好きなんです。

伊: 高校生の頃に演劇を観に行くのが好きになり、「もっと学びたい」と思って大学で応用演劇を学びました。演劇を使って社会の課題に取り組む授業を受けたのが、今の道を選ぶきっかけです。大学の先生の紹介で世田谷パブリックシアターに関わり、今は制作の仕事をしたりしています。「考える」「感じる」を深めることができるのが演劇の面白さですね。

附属中生徒の様子

中：昨年から本校に来ていただいておりますが、附属中の生徒の様子はいかがですか。

大：とにかく、はつらつとしていますね。真摯に課題に向き合う姿勢は、大人が心配になってしまうくらい。葛藤や悩みもきっとあると思いますが、「こんな大人もいるよ」という一つの見本になればいいなと思いますながら接していました。

オ：素直さが印象的です。思春期の入り口で、人前で表現するのは勇気がいるはずなのに、よく頑張って向き合っているな、と。「この授業の目的は？」と考える生徒もいて、すごいなあと思いました。演劇じゃなくても、人前で話したり、正解のない課題に挑戦したりする“入口”になってくれれば嬉しいです。

伊：誰かのアイデアを素直に受け止められる人たちだと思う。(適性検査を経て)同質性が高い環境だと、息苦しく感じる人もいるかもしれないのに、ここでは柔らかい雰囲気がありました。学校の外につながるきっかけとして、演劇でも音楽でも何でもいい。外に開く扉になってくれればいいなと思います。

中：授業を3回通して見えてきたことはなにかありますか？

伊：相談しながらひとつのものをつくろうとする表情がとても印象的でした。いいアイデアを受け入れたり、工夫を重ねたり、明るい表情が増えていったように思います。

オ：「桃の形をどうする？」といった、正解のない課題にもだんだん慣れてきましたね。知識を覚える授業とはまったく違うチャンネルを使うと思うんですけど、切り替えが上手になっていくのを感じました。感想を言ってくれた人もとってもよかった！みんなの工夫を認め合う姿ですね。

大：回と回の間が1か月空いたので、うまくいかないこともあったと思います。でも、それも“寄り道をしながらつくる”演劇の大事なプロセスです。最初にもっていた「やりたい」という気持ちを、またもち帰って来てくれたのが嬉しかったですね。

学校で芸術文化を学ぶ意味

中：なんかとってもいいお話が聞けて嬉しいです！最後に、学校で芸術文化を学ぶ意味についてちょっとまとめていただけませんか。田中さんどうですか？

田：私は子どもには「芸術に触れる権利」があると思っています。芸術文化だからこそ、その人自身と向き合える瞬間があります。学校の中には、まだ芸術に出会えていない子もいる。だからこそ、こうしたプログラムがもっと身近になってほしい。役割や学歴ではなく、“その人として出会う”ことができるのが芸術の力です。

中：“その人として出会う”か。僕も最近肩書きを通してしか人と関わっていないかもしれない。耳が痛いです。皆さんありがとうございました。ついつい長々とおしゃべりしちゃいましたね。申し訳ありませんでした。

冬休み中の学校閉庁期間のお知らせ

本校では12月29日(月)～1月4日(日)は学校閉庁期間(学校として対外的な業務は行わない日)です。校舎内には入れません。学校がお休みの間、緊急連絡はすぐへの「欠席・遅刻連絡」をお願いします。なお、緊急連絡以外は1月5日(月)以降の対応になりますので、ご承知おきください。

本年も残すところわずかとなりました。保護者のみなさまには、日頃より本校の教育活動に深いご理解とご協力をいただき、心より感謝申しあげます。新しい年も、教職員一同、力を尽くしてまいります。どうぞよいお年をお迎えください。

後期EGGゼミ中間発表会がんばりました！



中間発表会での1組の発表の様子。質疑応答では、どのクラスでも常に活発に意見が出され、今後の活動につながる充実した時間となりました。

12月13日（土）にEGGの中間発表会がありました。前期に決定したクラステーマに沿って、グループごとにテーマを設定し、1グループ発表6分、質疑応答4分という与えられた時間の中で、どのクラスも一生懸命に発表する様子が見られました。プロジェクターに写したスライドには、自分たちで放課後や土日を使って校外で取材した内容や実践活動を通じて学んだことが上手にまとめられており、中間発表とはいえ学びの深い内容となっていました。

EGGの大テーマである『世界を幸せにする第一歩』を着実に踏み出した14期の1年生。今回の中間発表で得られた成果と課題を、3月14日（土）の研究発表会本番に向けて、さらに完成度を高めていきましょう！



2組の発表の様子



3組の発表の様子



4組の発表の様子

3回にわたった充実の演劇講座、笑顔で終了！

11月から計3回にわたり行われた演劇講座が、先日無事に終了しました。1つの課題について小グループで取り組み、生徒自身が『0（ゼロ）』から様々なアイデアを出し合い、言葉だけでなく全身を使って表現し、**何かを創り上げる演劇活動**。劇団等でご活躍されているアーティストの大道朋奈さんたちによる授業は、普段の教科の授業とはずいぶんと違い、1年生たちにとってはとても刺激的で面白いものだったように感じます。最初は恥ずかしがっていた生徒が、少しずつ積極的になり、最後は笑顔で様々な動きにチャレンジしていたのが印象的でした。1年生の皆さん、素晴らしい創作活動でした！



汗をかきながら笑顔で演技する様子は圧巻でした！



1年生のポスターが巡回展示されています！

南部学校教育事務所主催の「あいさつ運動」ポスターに、
1年3組の■■■■さんの作品が選ばれ、11月より巡回展
示されています。現在は、港南区役所1階展示スペースに昨
日12月24日（水）まで展示されていましたが、年明けも
上大岡駅で展示されるようです。ぜひ時間がある時に見に行
ってみてください。そして、来年も『愛さつ』を積極的に学
年全員でしていきましょう！

展示期間、展示場所は以下の通りです。

展示期間	令和8年1月7日(水)～1月13日(火)
展示場所	地下鉄上大岡駅 地下1階連絡通路掲示板

展示期間	令和8年1月15日(木)～1月21日(水)
展示場所	上大岡 京急百貨店10階レストランフロア

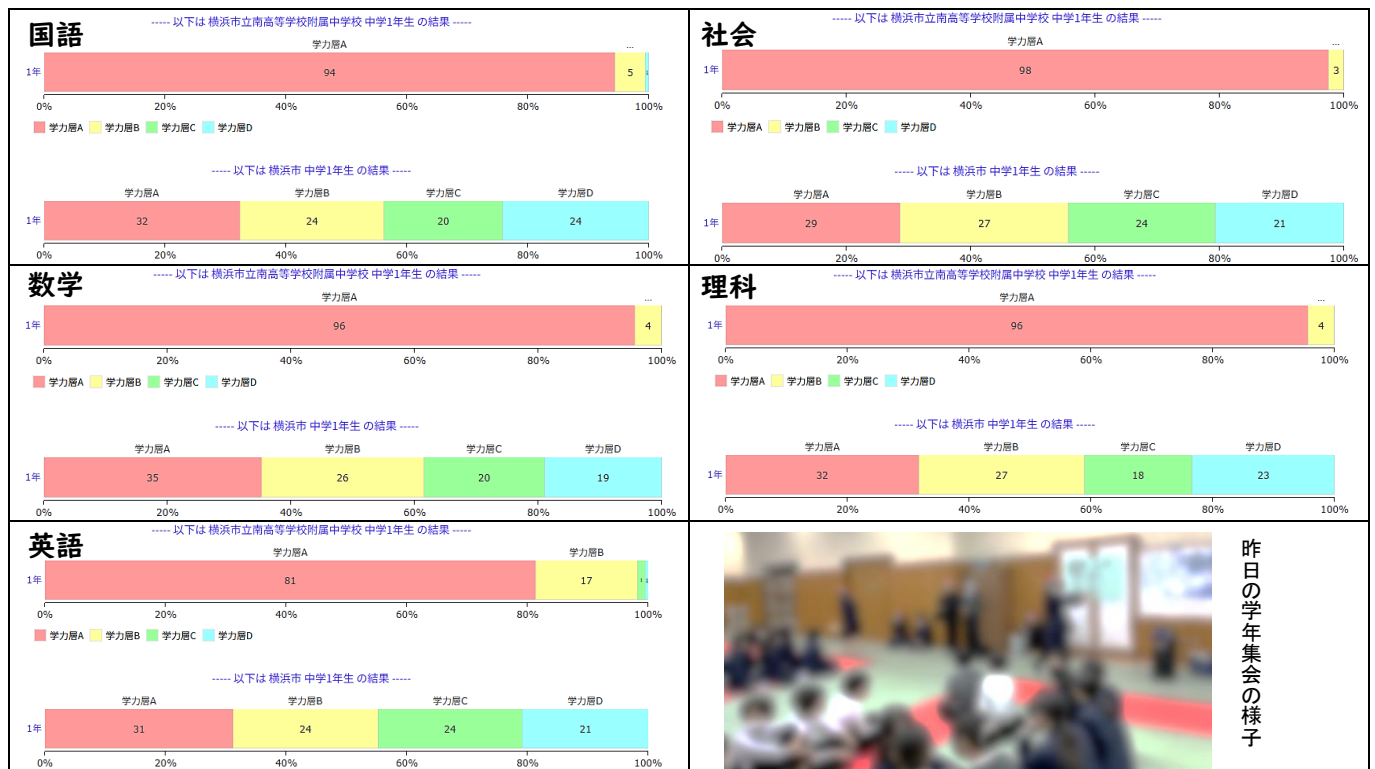


笑顔で『愛さつ』！来年もみんなで心がけていきましょう！

◇◇◇ お知らせ『令和7年度 横浜市学力・学習状況調査 結果』 ◇◇◇

横浜市の全学年を対象として5月12日（月）に実施された令和7年度横浜市学力・学習状況調査の結果をお知らせいたします。グラフの上段が本校、下段が横浜市の平均です。

※学力層 A:優れている 学力層 B:おおむね満足



【保護者の皆さまへ】

先日はお忙しい中、三者面談にご来校いただきまことにありがとうございました。昨日は学年集会も無事に終わり、学級委員が企画した2つのレク(ビンゴとジェスチャークイズ)は大いに盛り上がりしました。冬休み中も体調管理に留意され、皆さまよいお年をお迎えください。来年も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。 1年学年主任